



笑う門には福来る



教頭 岩崎 有香

令和7年の幕開けです。皆さんは新しい年をどんな気持ちで迎えましたか。

「笑う門には福来る」ということわざがありますね。「笑いの絶えない家には自然と幸福が訪れる」という意味です。なにかいやなことがあったとしても、明るく朗らかであれば、自然と幸せがやってくることを表しています。

我が家ではなぜか年末年始になると、家族ですごろくのテレビゲームをするのが、ここ最近の習慣になっています。子どもたちは、敵キャラが進化したといったら笑い、ゴールと全然違う方向にとばされたといったら笑い、何がそんなに面白いのかというくらい大笑いをしながらやっています。それを見ているとつられて私も楽しい気持ちになって、いつの間にか夢中になって一緒に参加し、勝つために協力しています。

笑顔にはたくさんの素晴らしい力があります。私たち自身も心が軽くなり、周りの人々もその笑顔に元気をもらいます。笑顔で挨拶をしてくれるととてもうれしい気持ちになります。笑顔は言葉がなくても人をつなげ、笑顔があふれるところには自然と人が集まり、お互いに支え合い、困難を乗り越えていく力を見つけることができるのです。笑う門の「門」は、家・家族・一門などの意味があります。学校も一つの「門」として、今年も、子どもたちと一緒に笑顔になれる時間を大切にしていきたいと思えます。

年は明けましたが、令和6年度は3月末までです。残りわずかとなりましたが、今の学年を締めくくり、次の学年に自信をもって進むための大事なステップとなります。新たなめあてをもって充実した学校生活を送ることができるようにしていきましょう。

子どもたちが楽しく、安心して安全な学校生活を送れるよう教職員一同、力を合わせて教育活動を行ってまいります。引き続き、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1月の行事予定



| 日 | 曜日 | 行事予定 |
|----|----|--------------|
| 8 | 水 | 始業式 12:15下校 |
| 9 | 木 | 短縮日課 12:15下校 |
| 15 | 水 | 小5社会科見学 |
| 16 | 木 | 月曜日課 |
| 24 | 金 | 英検 |
| 29 | 水 | 小学部校内体験学習 |
| 31 | 金 | 漢検 |



小学部3年社会科見学～中央消防署～



小学3年生の社会科では、「くらしを守る」はたらきについて学習をします。その中の「火事からくらしを守る」の学習の一環として、12月4日（水）にオンラインで消防署の見学をしました。

最初は訓練棟の見学からスタート。火災現場を想定した暗室迷路やトレーニングルームを見た後は、救助訓練の見学。20メートルもあるロープを色々な方法で素早く渡る消防士さんの姿には、歓声が上がっていました。次に、庁舎に移動。食堂やシャワー室、仮眠室など、24時間勤務する消防士さんが過ごす空間を見ることができました。その後、様々な車両を見学した後は、はしご車の疑似搭乗体験。はしご車のバスケットに360度カメラを搭載し、児童は学校や自宅からタブレットを操作することで、はしご車からの目線や感覚を味わうことができました。

消防署の方々が火事にそなえて様々な訓練や工夫をしていることを知ることができ、貴重な学習の機会となりました。対応して下さった中央消防署の皆様、ありがとうございました。



中学部 ～先輩の話を聞く会～



中学部では12月5日（木）の自立活動の時間に「先輩の話を聞く会」を行いました。今回は、今から17年前に小児医療センターに10か月間入院し、その間岩槻養護学校で学習していた先輩をお呼びしました。先輩の入院時代の話や復学時の話、その後の進路選択や現在の仕事についての話を聞くことができました。その後の質疑応答の時間には生徒たちからのたくさんの質問に一つ一つ丁寧に回答していただきました。先輩から直接体験談を伺えたことで、現在の入院生活の参考になったり、復学時のイメージを膨らませたりすることができたのではないかと思います。先輩からの「目標に向かって頑張ることの大切さ」や「やりたいと思ったことはやってみる！」といったメッセージは、中学部のみなさんへのエールとなったことと思います。

生徒の感想の中には、「入院生活の話や現在の生活の話などを聞いて、辛いことを乗り越えた先には、明るくて楽しい未来があるということを知り、すごく勇気をもらえました。」というものがありました。また、保護者の方々からも大変にためになったという感想をいただきました。

今後も今回の先輩の話を聞く会で学んだことが、困った時や悩んだときのみなさんの指針となると嬉しいです。

